NIE実践報告

1．タイトル：☆卒業時に新聞を読む人になろう

2．学校名

愛知県立春日井高等学校（定時制）

3．実践者名（代表者名）

渡辺　裕之

4．学年

第1・2・3・4学年（全学年）

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科・総合学習　72人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞を読む人になろう

7．目標(狙い)

新聞学習によって社会での居場所を発見し、卒業時に新聞を読む人になる。

8．評価の視点

新聞に興味をもつことができたか。
読み書き能力に向上が見られるか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

社会科（地理A・世界史A・日本史A）の冒頭10分間
総合学習　1単位通年　29時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①社会科授業の冒頭、毎時間、授業に関連する新聞記事をコピーして配布し、教員が読み解説する。質問には具体的かつ丁寧に応答する。
②総合学習
　新聞を一部ずつ配布し、生徒は興味ある記事を切りぬく。B4プリントに貼付し、要約、感想を書く。翌週、教員が添削し、感想を書き返却する。
　テーマは自由選択のときと指定するときがあった。後者の例は「環境、教育、犯罪、お金、自然、健康、心を和ませる記事」である。（1、2学期22時間）
　3学期を新聞学習の発表および準備とする。定時制ゆえ、ほとんどの生徒が仕事を持つので、テーマを「仕事・派遣切り・失業・景気悪化」とし、このテーマで2回にわたりプリント作成に取り組む。次の1時間で自分の仕事体験を重ね合わせ、テーマにつき400字でまとめる。発表会では教員がチェックした原稿　をもとに、クラスメートの前で1分間スピーチを行う。（3学期7時間）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

　最初はやる気がなかった。だがやっていくうちに、新聞を読み、好きな記事を見つけ感想を書くのが面白くなった。また、返却の時、先生の感想が書かれているので、他の人がどう思っているか分かっておもしろかった。（生徒A君の感想文より）

12．成果と課題

　生徒は最初どのような記事を選ぶか、要約はどうすればいいのか、とまどったようだ。しかし、一学期の終わりにはスムースにいくようになった。年度末には一部の生徒から「新聞を最近読むようになった」との声が出た。
　しかしながら、未だに総合学習の時間ですら新聞をひらくのを面倒がる生徒もいる。次年度は自ら進んで新聞を読む習慣づけと、学習時には新聞全体を通読して、意欲的に課題に取り組めるような工夫をしたい。